

土屋グループと
クライアントをつなぐ季刊誌

土づくり

特別号

夏&秋



ボールも未来も追いかけて 就活×サッカー×ネコの日々

今回、土づくり 2 回目の出演となる宮脇太陽さん。前回の取材当時は、大学で勉学に励みながら、2026 年に開催される電動車椅子サッカーの世界大会、アルゼンチン・ワールドカップ(W 杯)の日本代表を目指して日々、奮闘していました。あれから 1 年が経ち、現在の宮脇さんの近況をお伝えします。

前回の取材より

宮脇さんは 2 歳でデュシェンヌ型筋ジストロフィーの診断を受け、筋力が少しずつ落ちる中、小学校高学年頃から車椅子の生活となりました。両親の送迎で中学に通い、電動車椅子サッカー(以下、サッカー)を始めた宮脇さん。高校は普通科進学校に入学し、サッカーに真剣に取り組む一方で、有名大学を目指すクラスメイトと共に勉学に励んできました。

高校 2 年の冬には強豪チーム『レッドイーグルス兵庫』に移籍。当チームは、日本のトップを決める大会『パワーチエアーフットボールチャンピオンシップジャパン』で 4 度の優勝を成し遂げた日本車椅子サッカー界屈指の強豪チームです。

宮脇さんは数々の試合や遠征をこなしながら、高校卒業後は早稲田大学 人間科学部 健康福祉科学科の E スクールに入学。オンラインで福祉・心理学などの勉強をし、4 年生となった 2024 年には卒業論文に向き合いながら、就職についても思案中でした。F.O.O のエキスパートの資格を取るなどし、リモートワークでの就職を目指しているとのこと。並行して、2026 年アルゼンチン W 杯の日本代表を目指し、家族や介護士のサポートを受けながら週末にサッカーの練習に励んでいます。

一年が経過して 宮脇さんの近況

Q … 大学は卒業されましたか？
A … はい、2025 年 3 月に卒業しました。

Q … 卒論のテーマは何にされたんですか？
A … 備前市の就労継続支援 B 型事業所の課題について調べました。ただ、ネタが集まらず夏くらいに全く進まなくなっ



まい、大変でした。題名も内容にマッチするように最後まで悩みましたね。

Q … サッカーはいかがですか？

A … サッカーは今も週末に練習していますが、『レッドイーグルス兵庫』は退団したんです。兵庫県にはもう一つチームがあるので、そちらに移りました。

Q … どうしてチームを移られたんですか？

A … 今のチームは中堅くらいで、前みたいに強いチームではないんです。やはり強いと勝つことに慣れすぎてしまっって、自分のプレーがあまり磨かれていないと感じていました。だったら前ほどは勝てなくても、もつと厳しい環境に身を置いて続けた方がいいのかなと思って移籍しました。

Q … 就職はどうされましたか？

A … まだこれからです。今も就職活動中で、時間がかかっています。事務作業やデータ入力など、一般事務で就職することを考えています。

ネコと癒しとサッカーと

アルゼンチン W 杯も来年に迫る中、宮脇さんは代表選手に選ばれるべく、今年秋の全国大会を目指して奮闘しています。

宮脇さん「普段は基礎練習を中心に行い、他チームとの試合で遠征することも増えてきました。関西圏だとチームが多いですし、イーグルスといつしよに遠征することもあります」

古巣を離れても、仲間であることに変わりないのが電動車椅子サッカーです。

宮脇さん「電動車椅子サッカー自体が一つのコミュニティみたいになっているので、サッカーをしている人はみんな仲間」というコンセプトなんです」

最近土屋が後援しているリーグ・フアジアノ岡山 F.C の試合にも行ったそうです。

宮脇さん「楽しかったです。応援も耳に残るくらいすごかったです。電動車椅子サッカーとはスピード感が全然違いますね」

自身の練習で忙しく、あまり観戦には行けないとのことですが、そんな宮脇さんが好きなのは、YouTube でネコの動画を見ること。

宮脇さん「ネコが好きなんです。自由な感じがいいなと思って」

宮脇さん自身も、はるちゃんというネコを飼っているとのこと。手足の白い、自由気ままな、茶とらの「はるちゃん」です。

宮脇さん「でも膝には乗ってくれないです。自分でおもちゃを探して、勝手に遊んでいます。頭を触ったら、触るな」って感じなんです」

YouTube でネコの動画に癒されつつ、サッカーや就活に励む日々を送る宮脇さん。そんな宮脇さんを、土づくりメンバー一同、応援しています！

障害がある方の就労について

以前、クライアントの皆さまにご協力いただいた「就労に関するアンケート」(「土づくり」2025 年春号にて報告)では、136 名のご回答者のうち、「就労していない方」は 118 名。そのうち「就労したい」と回答された方が 16 名でした。

■就労を阻む理由

身体的に困難	11 名
通勤が困難	7 名
仕事が見つからない	6 名
制度上の問題	5 名
心理的に困難	1 名
その他	1 名

* 複数回答あり

■希望する仕事

- ☐ PC・SNS を使用する仕事
- ☐ IT・エンジニア関連
- ☐ 事務職
- ☐ リモートワーク etc.

■職場への希望

- ☐ 在宅ワーク
- ☐ フレックス制
- ☐ 日中のトイレ・通勤退社時の介助
- ☐ 障害への理解
- ☐ バリアフリー化 etc.

■必要な社会的支援

- ☐ 就労中でも重度訪問介護を使えるようにしてほしい
- ☐ 勤務先と一緒に探してほしい etc.

■不安に思うこと

- ☐ 会社の人に介助を頼めるか
- ☐ 継続的に就労できるか
- ☐ コンスタントに仕事ができるか
- ☐ 健康面／偏見 etc.



宮脇さんの就労事情に見る障害者雇用の現在

Q: どのように就職活動をしていますか？

A: ハローワークが主体です。就職先もハローワークの担当者の方と一緒に探していて、面接をしていただいています。ハローワークに登録されていない企業だと、障害者が働きやすい制度が導入しにくいこともありますが、ハローワークに登録している企業だと、例えば「この企業はあまり障害者に優しくない」とか、「この企業だったら障害者が働きやすい」といったところも分かります。

Q: 就職活動は大変ですか？

A: 障害者枠の就職なので、ハローワークの担当者の方からは「焦って面接をいろいろ受けるよりも、焦らずにゆっくり進めていくように」と言われています。あまり焦って就職してしまうと自分に合っていなかったりもしますし、企業からの支援も必要なので、企業にも自分の障害のことを知ってもらわなければならない、そこで時間がかかってくると思っています。

Q: 就職先を決めるポイントは何ですか？

A: 働きやすさです。僕は車椅子を使っているの、リモートワーク(在宅勤務)の企業を探しています。ただ、そもそも在宅ワークができる企業が少なくてですね…職場に通勤する会社は多いんですが、それに在宅とはいえ、年 1 回、月 1 回は通勤という企業もあって、そうするとなると近い場所がいいかなと思っています。岡山県周辺か兵庫・大阪、遠くても福岡あたりですね。

Q: 他に大変だと感じることは？

A: 「職務経験が必要」という企業がかなり多いです。勤務経験 5 年以上が一番多いと感じるんですが、即戦力を求めているんだと思います。そういうところばかりですね。一度入ってしまえば職務経歴も付くので、後々は楽になるとは思っているんですが…

Q: 資格に関してはどうですか？

A: そうですね、僕は Excel と Word のエキスパートは取得しましたが、今は簿記の勉強をしています。ハローワークの担当者の方にも「簿記の資格は就職に有利」と言われたので、取ってみようと思いました。ただ覚えるのが大変ですね、覚えることが多くて。

Q: これからの将来をどのように考えていますか？

A: まだあまり想像できないです。とりあえず就職することを最優先に考えています。働く意欲はかなりありまして、今すぐにでも働きたいですね。

創業 5 周年を迎えて

土屋グループは 2025 年 8 月 19 日をもって、創業 5 周年を迎えることができました。これもひとえに、日頃よりご愛顧いただいておりますクライアントの皆さまのご支援とご厚情の賜物と、心より御礼申し上げます。

この 5 年間、数々の挑戦を重ねてまいりましたが、軸としてきたのは、私たち土屋グループの本質である「利他」(他者に利する)の精神です。そして、私たちにとっての第一の他者とは、言うまでもなくクライアントの皆さまです。

現在、土屋グループのクライアントは 1500 名以上いらっしゃり、皆さまの生活を 10 年後も 20 年後も、100 年後も支え続けることが私たちの使命です。そのために土屋グループの永続化の取組みを進めるとともに、今後もクライアントの皆さまや、現場でサポートする方たちが躍動できるような環境整備を実現したいと考えております。

これからも、我々のビジョンである「オールハッピーの社会の実現」に向けた取組みを大切にしながら、さらなるサービスの向上に努めてまいります。今後とも変わらぬご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



株式会社土屋
代表取締役 高浜 敏之

■ イベント開催

ケアサミット 2025 ー ケアの語りと実践をひらく ー

開催日：2025 年 7 月 5 日
場所：シダックスカルチャーホール (渋谷) / Zoom

作家・岸田奈美氏らを招き、様々な立場から“ケア”を語るイベントを開催しました。
当日は、「今、どのような情報発信が求められているのか」、「理想的なケアを現場でどう実践していくのか」などに関する活発なトークが展開しました。

2025 年 10 月 「一般社団法人 土屋雅翔会 はれのくに在宅クリニック 杜の街」 (岡山市) が新規開院！

小児から高齢者まで、 全世代の在宅療養環境の充実を目指して

＜概要＞
院長：入江真大氏 (外科、在宅医療)
・お子様から高齢者まで幅広く対応
・定期・緊急対応、24 時間体制
・専門的な医療ケアに対応

「全国障害者地域生活支援事業者連絡会」の会長に高浜代表が就任！

＜全国障害者地域生活支援事業者連絡会 (略称：全地連) の概要＞
○設立の趣旨：正しい制度や事業者のあり方について考え、社会に発信する
○設立日：2025 年 7 月 28 日
○加盟事業者数：37 社 (2025 年 7 月現在) ※全国 19 都道府県の事業者が参加
○会員の事業内容：重度訪問介護を中心とした障害福祉サービスの提供

WEB サイト：<https://fukushi-zenchiren.jp/>



土屋グループは重度訪問介護のリーディングカンパニーとして各事業者との連携を強化し、サービスのさらなる向上を目指すとともに、政策提言等を通して介護業界の持続可能性の確保や待遇改善、重度訪問介護制度の発展に尽力します。

■ 海外研修

デンマークスタディツアー

2025 年 6 月 1 日～7 日
選抜メンバーが障害者の就労支援事業所、特別支援学校、障害者グループホームなどを視察し、デンマークの福祉についての知見を深めました。



専門家と行く 中国・北京の医療介護・認知症ケア最前線 視察ツアー

2025 年 6 月 24 日～27 日
取締役ら 7 人が、北京の地域密着型施設や認知症専門施設を見学し、中国の高齢者ケアの現状と課題について貴重な学びを得たほか、「日中認知症ケア交流シンポジウム」にも参加しました。



土屋ケアカレッジの 特別社内研修会

専門家による講習を通じて、スタッフの知識や技術の向上を図る特別社内研修会を 12 回にわたり実施します。現在、4 回目まで開催されました。

■第 1 回
『経管栄養の投与経路別の特徴と適応』
講師：入江 真大氏 (医師)

■第 2 回
『胃ろう管理のトラブルシューティング
アテンダントにできることは？』
講師：平良 亮介氏 (看護師)

■第 3 回
『飲み込むってこんな感じ～実際に感じて理解～』
講師：妹尾 郷史氏 (言語聴覚士)

■第 4 回
『ポジショニングスキルアップセミナー』
～ALS などの難病患者へのポジショニング～
講師：藤井直人氏 (健康運動指導士・食生活アドバイザー)

TSUCHIYA MEMBER' s STORY

土屋のアテンダント・管理者・マネージャーらが、自らの過去、そして現在、未来への希望と、障害福祉にかける想いを語ります。



クライアントインタビュー

土屋のクライアントあるいはご家族が、自らの半生、そして抱き続けた想いを語ります。



クライアントのみなさまへ

広報土づくりへのご意見・ご感想はこちらまで
tcy.shachoshitsu@care-tsuchiya.com



当社介護サービスにおいて虐待や身体拘束が疑われる場合がありますら、下記までご一報ください。
client@care-tsuchiya.com



発行元 株式会社土屋
岡山県井原市井原町 192 番地 2
久安セントラルビル 2 階

